

『第14回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』開催報告

日本写真測量学会関西支部では、平成30年9月14日（金）に、大阪府立大学 I-site なんば（大阪市浪速区）を会場として、『第14回 若手技術者・研究者による技術研究発表会』を36名の参加（学生7名、社会人4名の発表）のもと開催しました。本発表会は、30歳以下の技術者・研究者が発表の発表技術向上と研究発展に資することを目的としています。

今年の発表会は、学生セッションと社会人セッションの発表に加え、新たな試みとして「若手の会」に求めること」と題したパネルディスカッションを実施しました。学生セッションと社会人セッションの発表では、発表・研究に至った背景やモチベーションに関する質問、今後の研究の進め方に関する助言などが出され、例年どおり緊張感のある質疑応答が交わされました。パネルディスカッションでは、「ポスターセッション」や「若手による勉強会」の開催など、会場全体から来年度の発表会に繋がる数多くのご意見・ご提案をいただきました。

この発表会では、本支部役員の審査に基づき、以下に示す2名の優秀研究発表賞と1名の敢闘賞が授与されました。発表後の懇親会では、吉村支部長から受賞者が表彰され、和やかな雰囲気の中で、発表会は閉会しました。

本支部では、来年度以降も同様の技術発表会を継続していく予定です。支部役員一同、多くの若手技術者・研究者の参加をお待ち申し上げます。



優秀研究発表賞

渡邊 健斗（京都大学大学院）

田村 恵子（中日本航空株式会社）

敢闘賞

岸川明弘（大阪工業大学大学院）

受賞者：左から田村氏、吉村支部長、岸川氏



発表の様子



パネルディスカッションの様子